TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

成長する教会に不可欠なこと（パート４）祈りへの献身

使徒言行録 2:42-47

2024年11月９＆10日

神永 譲（Joel）牧師

小さい子供達のユーモラスな祈り

・「神様、世界中の人々を、特にぼくの弟を愛するのはとても難しいと思います。どうしたらそんなことができるの？」
・「神様、カインとアベルに自分の部屋があったら、あんな風に殺し合うこともなかったんじゃないかな。私と弟は、それで上手くやってるよ。」
・「神様、月はチーズでできているって聞きました。今夜は半分になっていたけど、お腹が空いたんですか？」
・「神様、私は毎晩『私たちを試みに遭わせず、*私たちにemailを送ってください』って祈っているけど、あなたからメールが届きません。私のメールアドレスを間違っていないですか？」
*deliver us from evil を deliver us some email と聞き間違えている様子
・「神様、母が残り物で食事を用意するとき、また食べ物のために祈らなくちゃだめですか？」
・「神様、あなたが休暇をとっているとき、誰に祈ればいいんですか？」
・「神様、結婚式にいったら、教会で新郎と新婦がキスをしていました。そんなことをしていいんですか？」
（グレッグ・モール・ミニストリーズのウェブサイトから抜粋）

娘が３歳位のとき、妻と私の仲が上手くいっていないことに気づいたのでしょう。突然、娘は「神様、どうかママがパパをハグしますように」と祈ったのです。すると、その祈りは直ぐにその場で叶えられました。効果があったのです！

プリンストン大学の博士課程の学生が「この世界には独創的な論文を書くための研究がまだ残っているでしょうか」と尋ねたとき、アルバート・アインシュタインはこう答えました。「祈りについて調べなさい。誰かが祈りについて調べる必要がある。」（フィリップ・ヤンシー著『祈り』11ページ）

祈りは神秘的であり、理解したり説明したりするのが難しいものです。祈りは最も簡単で、同時に最も難しいものです。このメッセージを準備するにあたって、私は本当に苦労したので、ここにいる何人かに祈っていただくようお願いしました。ですから、このメッセージは祈りの賜物なのです。

さあ、祈りましょう！

天の父なる神よ、私たちがこの礼拝と祈りの場にいるのは、あなたと、あなたの御子イエス・キリストによって成し遂げられたあなたの素晴らしい御業のためです。そして私たちがこの礼拝と祈りの場にいるのは、私たちの人生で起きている、聖霊をとおして私たちに罪を自覚させ、正して、変えてくださるあなたの御業のためです。

私たちは主イエスの御名のもとに集い、聖なるあなたの存在に心から感謝いたします。主よ、私たちが今歌った歌があなたに喜ばれ、これから歌う歌もあなたに同じ香気をもたらしますように。

この礼拝に集う一人一人、そしてオンラインで礼拝する一人一人に感謝します。主よ、あなたは私たちの心と生活の状態をご存知です。すでにあなたを個人的に知っている人たちが、あなたの生ける言葉を通して成長し続け、あなたによって変えられるように祈ります。主よ、まだあなたを知らない人たちが、今日あなたの声を聞き、あなたと個人的な関係を持つという招待を受け入れますように。

私たちの友人教会であるスバ・バプテスト教会とトンガ・バプテスト教会が、それぞれの人々とそれぞれの地域社会に奉仕する際に、あなたから豊かに祝福されますようにお祈りいたします。

また、TBC渋谷、三郷、ウェストトウキョウのためにも祈ります。私たちの間で、そして私たちのコミュニティーでも、あなたの聖霊の偉大な働きを経験できますように。主よ、どうか私たち一人一人を蘇らせ、老若男女すべての人に、あなたの御子イエスのもとに救いと永遠の命をお与えください。

これからあなたの聖なる御言葉に目を向けますが、私たち一人一人が教えを受け入れる姿勢を持ち、あなたのメッセージに謙虚に耳を傾け、私たち自身の生活の中でそれを実践できるよう力を与えてくださるように祈ります。教会の成長に欠かせない様々なものについて見てきましたが、今日は祈りに焦点をあてます。主よ、今日はこのテーマについて教えてください。

主イエスよ、あなたの偉大で甘美な御名によって祈ります。アーメン！

メッセージシリーズの概要

今年の初めの２月に、使徒言行録 2:42-47 の箇所を元に「成長する教会に不可欠なこと」というメッセージシリーズを始める特権が与えられました。このシリーズで、３つのメッセージをしました。復習すると、聖霊の降臨とその力強い働きと、使徒言行録 2:37-41 から、福音が伝えられること、悔い改め、そしてバプテスマが最初の教会の設立につながったことを学びました。しかし、最初の信者と最初の教会のメンバーは、新しい人々に説教し、バプテスマを施しただけでなく、幾つかの必要事項に完全に身を捧げました。これらは、次の 42-47 節に記されています。

42 そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。43 すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行われていたのである。44 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、45 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。46 そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、47 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。（使徒言行録 2:42-47）

最初の信者たちがひたすら心を一つにし、この 7 つの必要事項に身を捧げていました。
(1) 使徒の教え
(2) 交わり
(3) パンを裂く
(4) 祈り
(5) 与え合い、奉仕する
(6) 神を賛美し、礼拝する
(7) 福音を伝える、つまり伝道活動をする:「主は救われる人々を彼らの中に加えられた」。

祈りに専念しましょう
これまで最初の 3 つの必要事項の使徒の教え、交わり、パンを裂くことについて学びました。今日のメッセージでは、「祈り」に焦点を当てます。これは成長する教会にとって 4 つ目に大切なことです。成長する教会は健全な教会です。言い換えれば、健全な教会は自然に成長します。ですから、教会として成長し続けたければ、個人としても集団としても、「自分でいること」と「行い」、「信仰」と「働き」において、より健全になりましょう。

英国のキリスト教伝道者と作家のレナード・レイブンヒルはこう言っています。「教会には主催者は多いが、苦悩する者は少ない。お金を払ったり、遊んだりする者は多いが、祈る者は少ない。休む者は多いが、問題に取り組む者が少ない。冒険心のある者は多いが、仲裁する者は少ない。祈りに失敗したら、神の民は必ずどこでも倒れるだろう」

祈りの 4 つの重要な側面
祈りは、多くの面やカット面のあるダイヤモンドに似ています。「ダイヤモンドのカット面は、よくダイヤモンドの窓だと説明されます。光がダイヤモンドに当たると、複雑に配されたカット面で屈折して、美しい光学効果を生み出し、ダイヤモンドがキラキラと輝く」と読んだことがあります。
(https://shop.kenanddanadesign.com/)

さて、祈りの 4 つの重要な側面、つまり祈りの基礎、重点、機能、そして形式について見てみましょう。これらのカット面や窓を一つ一つ、希望と祈りを込めて見ることで、祈りをより深く理解できます。

1. 祈りの基礎

祈りの定義
祈りという言葉はギリシャ語で προσευχαῖς (プロセウケ)といいます。使徒言行録 2 章 42 節では、共同体として祈る習慣を指しています。この箇所では明らかに、初期の弟子たちが一緒に集まって、大小のグループで祈ったことを示しています。彼らが神殿にいるときは、祈る人は多く、家で集まるときは、各グループの人数はもっと少なかったのです。重要なのは、彼らが集団で祈ったということです。これは私たちが教会として考慮すべきことだと思います。もっと集団として、共に祈ることです。

聖書は祈りについて、明確には定義していません。しかし、祈りの基本的な意味は「求めること」です。では、祈りの基本的な定義を言いましょう。「祈りは、神との心と心のコミュニケーションです。双方向のコミュニケーションです。神と話し、そして神の声を聞くことです。」祈るとき、私は自分の心配事や願いを神にぶちまけて、その場から去ったり眠ったりはしません。神の声に耳を傾けることに時間を割くべきです。コミュニケーションにおいて、他の人の話を聞くのは、話すより難しいことです。

聖書の中の祈りについて
・創世記 4:26 には、聖書で祈りについて言及している最初の箇所が記録されています。それまでは、最初の対話は直接神によって始められていました。「セトにも男の子が生まれた。彼はその子をエノシュと名付けた。その頃、人々は主の名を呼び始めた。」
・聖書で最後に祈りについて言及しているのは、ヨハネの黙示録 22:20 です。「これらのことを証しする方が言われる。「然り、私はすぐに来る。」アーメン、主イエスよ、来りませ。」
・聖書には、祈りが最初に言及されてから最後に言及されるまでの間に 650 の祈りが記載されており、祈りに対する約 450 の答えが記録されています。
・イエスは地上での宣教活動で祈りを 25 回捧げました。弟子たち、特に使徒たちが、神との関係において祈りがいかに重要かを、師のイエスから学んだのも不思議ではありません。
・使徒パウロは聖書の中で祈りについて 41 回言及しています。
(https://www.thegospelcoalition.org から引用)

使徒言行録の中の祈り(最初の信者たちの祈りへの献身)
使徒言行録全体を通して、最初の信者たちが祈りを捧げている様子がわかります。そのうちのいくつかを見てみましょう。

・「12 それから、使徒たちは、「オリーブ畑」と呼ばれる山からエルサレムに戻って来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の階に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子のユダであった。14 彼らは皆、女たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて、ひたすら祈りをしていた。」(使徒言行録 1:12-14)

イエスは天に召されたばかりでした。そして使徒たち、女たち、そしてイエスの家族が後に残されました。でも彼らを結びつけていたものが一つだけありました。それは祈りでした。

上の階の間での祈りから 10 日後、ペンテコステの日に教会が誕生しました。最初の教会は、誕生する前からすでに祈る教会でした！牧師と作家のスティーブ・ゲインズは、「教会は祈りの集まりによって出来たのであって、ビジネス会議によってではない」と言っています。

・「27 事実、この都でヘロデとポンティオ・ピラトは、諸民族やイスラエルの民と共に集まって、あなたが油を注がれた聖なる僕イエスに逆らい、28 御手と御心があらかじめそうなるようにと定めていたことを、すべて行ったのです。29 主よ、今こそ彼らの脅しに目を留め、あなたの僕たちが、堂々と御言葉を語れるようにしてください。30 どうか、御手を伸ばし、聖なる僕イエスの名によって、病気が癒やされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。」31 祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、堂々と神の言葉を語りだした。」(使徒言行録 4:27-31)

最初の信者たちは、大きな迫害を受けていました。そこで彼らは、神の言葉を語る勇気を与えてくださるよう祈りました。主は彼らの祈りに応えて、彼らを聖霊で満たし、彼らが恐れることなく語れるようにしました。

・「21 二人はこの町で福音を告げ知らせ、多くの人を弟子にした後、リストラ、イコニオン、アンティオキアへと引き返しながら、22 弟子たちを力づけ、「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なくてはならない」と言って、信仰に踏みとどまるように励ました。23 また、弟子たちのために教会ごとに長老たちを任命し、断食して祈り、彼らをその信ずる主に委ねた。」(使徒言行録 14:21-23)

最初の宣教の旅の間に、パウロとバルナバは現在のトルコと呼ばれる地域に幾つか教会を建てました。パウロとバルナバが新しい信者に奉仕した方法の一つは、祈りでした。

ですから、祈りの基盤は神の言葉、聖書そのものなのです。

2. 祈りの重点

ルカによる福音書 11:2-4 にある、弟子たちが祈るべきイエスの祈りの模範では、祈りの主な重点は神自身であり、5 つの要素で表現されています。

2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。/『父よ/御名が聖とされますように。/御国が来ますように。3 私たちに日ごとの糧を毎日お与えください。4 私たちの罪をお赦しください。/私たちも自分に負い目のある人を/皆赦しますから。/私たちを試みに遭わせないでください。』」(ルカによる福音書 11:2-4)

<u>焦点を当てる 5 つの要素</u>
・神の栄光 - 神の名が神聖なものとして尊ばれること。
・神の王国 - 神の王国は、神の創造物の目的を果たすために来る。
・神の備え - 私たちが日々必要としているものは、神によって満たされる。
・神の赦し - 私たちが自分に対して罪を犯した他人を赦すとき、私たちの罪も赦される。
・神の御加護 - 私たちはあらゆる誘惑から守られます。

3. 祈りの機能

旧約聖書と新約聖書の両方に何百もの祈りが記録されていますが、聖書には祈りの機能がおよそ 8 つあります。

・感謝するために祈ります。
感謝のうちにその前に進み/賛美と共に喜びの声を上げよう。3 まことに主は大いなる神/すべての神々にまさる偉大な王。(詩編 95:2-3)

・私たちの人生を捧げるために祈ります。
少し先に進んでうつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の望むようにではなく、御心のままに。」(マタイによる福音書 26:39)

・神との交わりで団結して同意するために祈ります。
そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。(使徒言行録 2:42)

・神を礼拝するために祈ります。
2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が告げた。「さあ、バルナバとサウロを私のために選び出しなさい。私が前もって二人に決めておいた仕事に当たらせるために。」3 そこで、彼らは断食して祈り、二人の上に手を置いて出発させた。(使徒言行録 13:2-3)

・聖霊に頼るために祈ります。
26 霊もまた同じように、弱い私たちを助けてくださいます。私たちはどう祈るべきかを知りませんが、霊自らが、言葉に表せない呻きをもって執り成してくださるからです。27 人の心を見極める方は、霊の思いが何であるかを知っておられます。霊は、神の御心に従って聖なる者のために執り成してくださるからです。(ローマの信徒への手紙 8:26-27)

・神に私たちの願いを捧げるために祈ります。
何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。(フィリピの信徒への手紙 4:6)

・執り成しのために祈ります。
そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人のために献げなさい。(テモテへの第一の手紙 2:1)

・神への信仰を表すために祈ります。
信仰による祈りは、弱っている人を救い、主はその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯しているのであれば、主は赦してくださいます。(ヤコブの手紙 5:15)

4. 祈りの形式

聖書は、どのように祈るべきかについて明確には指示していません。しかし祈りの形式や姿勢について主に 5 つのことが記されています。

・座って祈ることができます
ダビデ王は主の前に来て座し、こう言った。「主なる神よ、取るに足りない私と、私の家を、ここまでお導きくださるのは、なぜでしょうか。(サムエル記下 7:18)

・頭を下げて祈ることができます
モーセは急いで地にひざまずき、ひれ伏した。(出エジプト記 34:8)

・膝をついて祈ることができます
ダニエルは、文書が署名されたことを知って、自分の家に帰った。彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かって開かれていた。彼は以前からしていたように、その日も三度、ひざまずき、祈り、自分の神に感謝した。(ダニエル書 6:11)

・両手をあげて祈ることができます
だから、私が望むのは、男は怒らず争わず、どこででも清い手を上げて祈ることです。(テモテへの手紙一 2:8)

・平伏して(地にひれ伏して)祈ることができます

エズラが大いなる神、主をたたえると、民は皆、手を上げて「アーメン、アーメン」と答え、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。(ネヘミヤ記 8:6)

祈るときに最も大切なのは、心の態度です。祈る形式や姿勢は副次的なものです。

結びの祈り
このメッセージを終えるにあたり、日本と世界、教会(TBC)、そして個人の必要という 3 つのことについて一緒に祈りたいと思います。それぞれの分野について、一度に一つずついくつかの祈りの項目を皆さんと共有します。共有が終わったら、共にお祈りください。

・日本と世界のために祈る
(1) 福音が宣べ伝えられていない場所に、宣べ伝えられますように。
(2) 迫害を受けている信者たちに、力と慰めが与えられますように。
(3) 戦争が続いている場所に平和がもたらされますように。
(4) 自然災害の被害に遭われた方々に救援活動が行われますように。
(5) 最悪の飢餓状態にある何百万人もの人々に食糧が供給されますように。

・教会のために祈る(TBC)
(1) インパクト・ビルディング・プロジェクト:私たちのリーダーたちが、将来の世代のために何をいつ建てるべきかを知る知恵、判断力、信仰が与えられますように。また、主がプロジェクトを完了するために必要な資金を与えてくださいますように。
(2) 礼拝牧師:主が私たちの礼拝牧師に相応しい人を召してくださいますように。
(3) 11 月 17 日のインターナショナルフードフェアで、教会としての私たちの交わりが強化され、多くのノンクリスチャンがキリストを知るように。
(4) 12 月 7~11 日の冬の宣教活動では、多くの TBC メンバーがサウスクリフバプテスト教会の宣教チームとともに奉仕するように召され、多くのノンクリスチャンが福音を聞いて救われるでしょう。
(5) 年末プレイヤーミーティングは 12 月 31 日、午後 8 時 30 分~午後 11 時 30 分まで開催されます。今年を感謝の気持ちで締めくくり、キリストへの希望をもって新年を迎えるために、皆で集まれますように。

・個人に必要なことを祈る
(1) 祈りの中で神とより深く交わること、神とより時間を過ごすことを望むように。
(2) 私たちを傷つけた人たちを許し、私たちを憎む人を愛せますように。
(3) キリストを知らない人たちに、福音を伝えられますように。
(4) 私たちが希望と喜びを経験し、苦しみに耐えられますように。
(5) 病気の家族や友人が癒され、回復しますように。

愛する天の父よ、祈りという神秘的な賜物を与えてくださり、感謝いたします。祈りを通して、私たちはあなたと直接話すことができます。どうか、私たちに個人としても集団としても、何を祈るべきかを教え続けてください。そして、私たちがあなたと過ごす時間を意識的に持てるようにしてください。今、私たちはあなたに献金を捧げたいと思います。あなたの栄光のために、それらを祝福してください！

「アーメン」という言葉は、「そのとおりに」、「そうなりますように」、「確かに」、「本当に」という意味です。ですから、この祈りに全員が心から同意して、イエスの御名においてアーメンと言いましょう。アーメン！

神永 譲(ジョエル)
東京バプテスト教会
2024 年 11 月 9&10 日

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方は
こちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4624jp

★クラス 210
スモールグループについて
11 月 10 日(日) 1:00 pm - 5:00 pm
参加条件:どなたでも
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu